



新型コロナウイルスについてまとめてみました。コロナウイルス自体は、普通の風邪の主要な原因でもありますが、悪質なものに変容したのがSARS、MERS、そして、今回の新型コロナウイルスです。人によっては感染してもその人の持つ免疫力で治ってしまい、他の人へ感染させることもないという場合もあります。ところが、**高齢者や基礎疾患等を有する者においては重篤になる可能性がある**という点が厄介なところなのです。

**結核予防のBCGを接種した人が新型コロナウイルスにかかりにくい**ことについて、日本ワクチン学会と小児科学会はワクチン不足を恐れて懐疑的ですが、ノーベル受賞者の山中伸弥先生や、宮川剛先生の論文や研究では、**相関性があることが示唆されてきました**。感染者が多いのは、BCG接種を止めた国々です。定期予防接種をしても新型コロナウイルスの感染者が多い国もあるのですが、**実際には接種していない人が多い国もあるようです**。ニュージーランドは接種停止しているのですが、**完全な防疫政策の成果**でしょう。

BCGは、日本では幼児期、小学生、中学生の時に接種していたので、**感染予防効果が長期に及び、それが新型コロナウイルスの小児罹患率の異常な低さと高齢者の罹患率の高さの原因ではないかと推定する研究者が多くおられます**。2005年の改正により生後1年未満で一回の接種になったことが今後の免疫にどのように影響するでしょうか。BCGは免疫機能全般を高める効果が認められており、**膀胱がんの標準治療としてBCGの頻回接種があります**。

スウェーデンの集団免疫対策が失敗したのは、**個々の免疫力が弱かったから**でしょう。スウェーデンはBCGを最も早く接種停止している国です。自然の免疫力だけでは対応できない感染症が歴史上多くの人々を病死させ、強い免疫力をもった人々が生き残ってきたのですが、**現代日本の除菌ブームがコロナ災害を通して更に徹底され、免疫力の鍛えられない人々を生み出すことも、抗生物質の多用と共に危惧しています**。

新型コロナウイルスは弱者を攻撃する卑怯なものです。現実世界は弱者が虐められる怖い社会です。合理性は人間の思惑の中でだけ通用しません。自粛生活が続く、体調を乱しておられる方が多くおられます。我慢や忍耐ばかりでは対応できません。無理をせず、息抜きや生き甲斐となるものを見つけて出してください。病弱の時は、**近くの人が頼りです**。家族仲良く、優しい言葉を掛け合しましょうね。

事務長 柏崎久雄

### 感染症で受診される方へ

**発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いに**ご協力ください。

#### ★ 入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押して下さい。

#### ★ 待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

#### ★ 会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

### ヨーゼフのキャンペーン

**Bコンプレックス、イソトールB3、葉酸**

**7月15日(水)まで**

**レモンV、パーシックパック**

**8月7日(金)まで**

**聖書を読む会 7/21(火)13時40分**

- \* 新型コロナウイルスの感染が今でも警戒されています。院内に入る前にマスクを付け、入り口に置いてあるアルコール消毒薬で手を十分に殺菌してください。また、熱がある場合には、決して待合室に入らず、通路側のインターフォンでご連絡ください。感染症室に直接ご案内します。感染症室では症状別にお待ちいただきます。
- \* 最近の傾向として午前中に受診される患者さんが多いです。午後には診察に来られた方が待ち時間も少なく密になることもあります。
- \* 予約診療を来院による普通診療と並行して受け付けています。ウェブ問診も始まっています。受診時に記入する問診票を事前入力できます。オンライン診療も行っております。ホームページ左のタブより申し込んでください。電話再診もご利用ください。
- \* 病児保育は、他院で受診しても、当院長の診察を必須条件として利用を再開しています。
- \* 夏季休診は8月13日(木)〜16日(日)です。
- \* 栄養指導を前日までにご連絡がなくキャンセルした場合、2000円(税別)のキャンセル料が掛かります。
- \* ヨーゼフの自然・アレルギー対応食品販売が好評です。ネット販売も行っています。キャンペーンも行っていきますので、サイトをご覧ください。



オンラインサイト

## < 新型コロナウイルスの概観 >

### A. 厚労省のサイトから新型コロナウイルスに関して調べてみました。

#### 1. 「新型コロナウイルス」とは

「新型コロナウイルス (SARS-CoV2)」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群 (MERS)」ウイルスが含まれます。ウイルスにはいくつか種類があり、コロナウイルスは遺伝情報としてRNAをもつRNAウイルスの一種 (一本鎖RNAウイルス) で、粒子の一番外側に「エンベロープ」という脂質からできた二重の膜を持っています。自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えることができます。

#### 2. コロナウイルスの感染力は

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけと言われています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいます。ただし、付着した物の種類によっては24時間~72時間くらい感染力が持続すると言われています。手洗いは、たとえ流水だけであったとしても、ウイルスを流すことができるため有効ですし、石けんを使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるので、更に有効です。手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわ等に汚れが残りやすいといわれていますので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、流水と石けんでの手洗いができない時は、手指消毒用アルコールも同様に脂肪の膜を壊すことによって感染力を失わせることができます。

#### 3. 感染経路は

一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。

「飛沫感染」とは： 感染者の飛沫 (くしゃみ、咳、つばなど) と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染することを言います。

「接触感染」とは： 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染することを言います。WHOは、新型コロナウイルスは、プラスチックの表面では最大72時間、ボール紙では最大24時間生存するなどとしています。

#### 4. 感染力の高い時期は

新型コロナウイルスでは、症状が明らかになる前から、感染が広がるおそれがあるとの専門家の指摘や研究結果も示されており、例えば、台湾における研究では、新型コロナウイルス感染症は、発症前も含めて、発症前後の時期に最も感染力が高いとの報告がされています。したがって、人と人との距離をとること (Social distancing: 社会的距離)、外出の際のマスク着用、咳エチケット、石けんによる手洗い、アルコールによる手指消毒、換気といった一般的な感染症対策や、十分な睡眠をとる等の健康管理を心がけるとともに、地域における状況も踏まえて、予防に取り組んでください。

#### 5. 感染者の糞便

新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者や新型コロナウイルス感染症の患者、濃厚接触者が使用した使用後のトイレは、急性の下痢症状などでトイレが汚れた場合には、次亜塩素酸ナトリウム (市販されている家庭用漂白剤等はこれにあたります、1,000ppm)、またはアルコール (70%) による清拭をすることを推奨します。

#### 6. 食品を介しての感染

現在のところ、食品 (生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。) を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。なお、食品や食事の配膳等を行う場合は、不特定多数の人と接する可能性があるため、接触感染に注意する必要があります。食器についても同様に、清潔な取扱を含め十分お気をつけ下さい。

コロナウイルスは熱（70℃以上で一定時間）及びアルコール（60%以上、市販の手指消毒用アルコールはこれにあたります）に弱いことがわかっています。製造、流通、調理、販売、配膳等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、手指消毒用アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理が実施されていれば心配する必要はありません。WHOからの一般的な注意として「生あるいは加熱不十分な動物の肉・肉製品の消費を避けること、それらの取り扱い・調理の際には注意すること」とされています。

## B. コロナウイルスの特徴（国立感染症研究所のサイトより）

### 1. 風邪のコロナウイルス

ヒトに日常的に感染する4種類のコロナウイルス（**Human Coronavirus : HCoV**）は、HCoV-229E、HCoV-OC43、HCoV-NL63、HCoV-HKU1です。風邪の10～15%（流行期35%）はこれら4種のコロナウイルスを原因とします。冬季に流行のピークが見られ、殆どの子供は6歳までに感染を経験しています。多くの感染者は軽症ですが、高熱を引き起こすこともあります。HCoV-229E、HCoV-OC43が最初に発見されたのは1960年代であり、HCoV-NL63とHCoV-HKU1は2000年代に入って新たに発見されました。

### 2. 重症急性呼吸器症候群コロナウイルス（SARS-CoV）

ヒトからヒトへの伝播は市中において咳や飛沫を介して起こり、感染者の中には一人から十数人に感染を広げる「スーパースプレッダー」が見られ、医療従事者への感染も頻繁に見られました。死亡した人の多くは高齢者や、心臓病、糖尿病等の基礎疾患を前もって患っていた人でした。子どもには殆ど感染せず、感染した例では軽症の呼吸器症状を示すのみでした。

### 3. 中東呼吸器症候群コロナウイルス（MERS-CoV）

大規模な疫学調査により、一般のサウジアラビア人の0.15%がMERSに対する抗体を保有していることが明らかになったことから、検査の俎上に載らない何万人もの感染者が存在していることが推察されます。その大多数はウイルスに感染しても軽い呼吸器症状あるいは不顕性感染で済んでおり、高齢者や基礎疾患をもつ人に感染した場合のみ重症化すると考えられます。重症化した症例の多くが基礎疾患（糖尿病、慢性の心、肺、腎疾患など）を前もって患っていたことがわかっています。15歳以下の感染者は全体の2%程度ですが、その多くは不顕性感染か軽症です。ヒトからヒトへの伝播も限定的ですが、病院内や家庭内において重症者からの飛沫を介して起こっています。年に数回程度、病院内でスーパースプレッダーを介した感染拡大が起こっていますが、市中でヒトからヒトへの持続的な感染拡大が起こったことは一度もありません。

### 4. 動物コロナウイルスの感染性

コロナウイルスは家畜や野生動物などの、我々の周りに棲息するあらゆる動物に感染し、様々な疾患を引き起こすことも知られています。多くの場合、宿主動物では軽症の呼吸器症状や下痢を引き起こすだけですが、致死的な症状を引き起こすコロナウイルスも知られています。家畜では豚流行性下痢ウイルス（PEDV）、豚伝染性胃腸炎ウイルス（TGEV）、鶏伝染性気管支炎ウイルス（IBV）、実験動物ではマウス肝炎ウイルス（MHV）、ペットでは猫伝染性腹膜炎ウイルス（FIPV）が致死的です。コロナウイルスの種特異性は高く、種の壁を越えて他の動物に感染することは殆どありません。

### 5. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

飛沫感染・接触感染を主とする感染経路であり、一部の感染者及び感染者の行動や、環境要因によっては強い感染伝播が発生する場合がありますと考えられています。臨床的な特徴としては、1～14日（5日間が最も多い）の潜伏期間を経て、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等で発症します。感冒様症状が1週間前後持続することが多く、この頃より胸部X線写真、胸部CTなどで肺炎像が明らかになることがあります。一部のものは、呼吸困難等の症状を呈し、重症化します。また、発症者の多くが軽症であると考えられていますが、特に高齢者や基礎疾患等を有する者においては重篤になる可能性があるため厳重な注意が必要です。



## C. 新型コロナウイルスに関するその他の情報

### 1. 米国カリフォルニア州のラホヤ免疫学研究所

既存の別のコロナウイルス（ふつうの風邪）に感染した11人の血液サンプルを調べたところ、その半分（40-60%）から、今年の新型コロナのウイルスを防ぐ免疫作用を持つ「T細胞（免疫システムの中心的な存在）」が検出されました。ふつうの風邪の感染で形成される抗体が、新型コロナに対する免疫力を兼ね備えているらしいことがわかったのです。ふつうの風邪にかかったことがある人の多くは、新型コロナウイルスが体内に入っても感染（ウイルスを定着、増殖）させないか、感染しても限定的なかたちに制限できるようです。この既存の免疫作用が、新型コロナが蔓延しているのに感染や発症をしない人が多い世界の現状につながっています。

### 2. スイス・チューリッヒの大学病院

新型コロナウイルス感染者に濃厚接触してしまった医療従事者109人を調べたところ、新型コロナウイルスの症状があった92人のうち、11人しか抗体（IgG）が作られていませんでした。新型コロナウイルスに感染しても、ほとんどの人には抗体が作られないまま治癒します。発症しても本格的にならないと抗体が作れないことがわかったのです。

### 3. 免疫との関係（市川総合病院循環器内科）

免疫が働きにくく、完全に治癒することはできないといった、非常に悪質なタイプの可能性もあります。一度陰性となった方が再び陽性となることがあり、一部の方には持続感染という現象が起きている可能性さえ考えられます。肝炎ウイルスのように、抗体ができていても体内にウイルスが残る場合もありますし、帯状疱疹のようにほぼ一生ウイルスが体内の奥に潜み、体力が低下したときに繰り返し出てくるというようなものもあります。

### 4. 新型コロナウイルスが起こす重篤な症状（市川総合病院循環器内科）

心筋が新型コロナウイルスに侵されると心臓が急激に動かなくなり、急速に死に至ることがあります。新型コロナウイルスが髄液に入ると重篤な意識障害、神経系の障害が起こります。多くの感染者では肺が侵され、酸素を身体に取り込む呼吸機能が損なわれますが、身体では酸素が消費し続けられるので、身体の酸素がどんどん低下し、低酸素血症と言われる状態になります。重度の低酸素血症が生じると全身に酸素が行き渡らなくなり、脳は低酸素に陥り意識が低下します。それぞれの内臓も必要な酸素が不足するため、肝臓や腎臓など多臓器が失調します。血圧や心拍数などを保つ機能さえ損なわれ、やがて血流は低下し、多臓器不全の状態となります。多臓器不全に陥ると、救命できる可能性は低くなり、高齢者など体力が低下している人ではほぼ9割方が亡くなります。

### 5. 症状の不顕性、顕性、潜伏期間（市川総合病院循環器内科）

不顕性感染の患者さんが多い一方、発熱、倦怠感、咳、および味覚や嗅覚の低下などの症状を有した顕性患者さんも相当数います。症状は人によってさまざま、微熱が数日続く人から38℃以上の発熱が1週間も続く人まで、喉が痛くなる人がいたり、咳がひどい人がいたり、おおむねいわゆる風邪の症状に近いものです。新型コロナウイルス感染症特有の症状というものではなく、風邪かなと思われて感染に気づかない患者さんを多くしている一つの原因となっています。顕性感染と不顕性感染の割合はわかりませんが、偶発的に発見される不顕性感染が報告されていることから、全体に対する不顕性感染の割合はかなり多いことが想像されます。顕性となるのは全体の1割程度、9割、あるいはそれ以上が不顕性である可能性さえあるのです。更に、潜伏期間がどのくらいかもわかりません。

#### ＜ 診 療 時 間 ＞

月曜～金曜（午前8時30分～11時30分、午後2時～5時10分）

土曜（午前8時30分～11時30分、午後2時～4時半）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養医学(分子整合医学)



(携帯サイトへ)